

# セミナー報告

2016年3月12日(金)15:00～  
～本物の木でかなえる上質なインテリア～  
木の内装材を知る

今回の講師はAria & Auraで木製ドアや収納の扉を製作している会社、株式会社ウッドワークスの東京オフィスマネージャー中屋敷さんをお迎えしました。前回に引き続きインテリアのスペシャリストとして住宅業界の第一線で活躍されているインテリアデザイナーの前田久美子さんにも加わって頂き、アットホームな雰囲気でのセミナーが始まりました。

株式会社ウッドワークス  
東京オフィスマネージャー兼  
Aria&Aura販売統括マネージャー  
中屋敷 雅史さん



ing design & Atelier-mou.  
インテリアデザイナー  
前田久美子さん



セミナー前半は前田さんよりインテリアを構成する要素について。インテリアアイテムでまず一番先に思い浮かべるのは何か、参加者の方々への問いかけからスタートしました。回答は様々で、家具・壁紙・照明・床材など具体的に家づくりを考えた時、検討しなければいけない要素は沢山あります。日本人は木と共に生活してきた歴史があるので、木を使ったインテリアに心地良いと感じる方がとても多いと前田さん。何と組み合わせたら素敵な空間が出来るのか、参加者の方々の積極的な質問にも答えながらセミナーが進行しました。

下:ドアハンドルと金物の種類や扉の仕上げについて解説



始めに床材から仕上げや色を決める方も多くですが床と接するドアも重要なインテリアアイテムの一つです。続いて中屋敷さんから家づくりの際に役立つ、室内ドアを選ぶポイントについて解説して頂きました。



左:ドアの仕上げに使う様々な木の素材。  
・柎目調シート  
・突き板  
・人工突き板  
・挽き板  
・無垢材  
・ドア断面サンプル  
見て、触って頂き、違いを比較。

現状、新築住宅で採用される木目のドアの9割は人工的に木目をプリントしたシートを貼って仕上げています。本物の木の素材でも突き板・挽き板・無垢材などがあり、それぞれの特徴を活かす使い方があります。Aria & Auraの木製ドアは木の美しい質感を最大限に活かす挽き板を採用。実例として大阪のモデルハウスの写真が紹介されました。壁面に柎目が美しく映え、空間全体の質を上げる効果があります。



上:素材の違い(突き板・挽き板)について図解する前田さん  
セミナー終了後、より木に魅力を感じられたとのこと感想を多く頂きました。次回のセミナーは、9月開催の予定です。皆様のご参加をお待ちしております。